



**JAPANESE A1 – HIGHER LEVEL – PAPER 2**  
**JAPONAIS A1 – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 2**  
**JAPONÉS A1 – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 2**

Wednesday 17 November 2004 (morning)  
Mercredi 17 novembre 2004 (matin)  
Miércoles 17 de noviembre de 2004 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

---

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. You may include in your answer a discussion of a Part 2 work of the same genre if relevant. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. Vous devez baser votre réponse sur au moins deux des œuvres de la 3<sup>e</sup> partie que vous avez étudiées. Le cas échéant, vous pouvez inclure dans votre réponse une discussion sur une œuvre du même genre littéraire étudiée dans la 2<sup>e</sup> partie du programme. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la 3<sup>e</sup> partie n'obtiendront pas une note élevée.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta deberá basarse en al menos dos de las obras estudiadas en la Parte 3. Se podrán hacer comentarios sobre una obra de la Parte 2 del mismo género, si fuera necesario. Las respuestas que no incluyan una discusión sobre al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán notas altas.

学習したジャンルか、又は一般設問から問題一つを選んで、小論文を書きなさい。小論文を書くに当たっては、Part3で学習した作品の、少なくとも二作品に言及すること。その際ジャンルが同じであれば、Part2の作品を援用することも可能である。

### 1. 物語・小説

- (a) 作品の冒頭と末尾は、どのように関連・呼応しているかを、学習した作品を例にして示し、そこに見る各々の作者の意図を明らかにしなさい。又、そうした作者の意図について、思うところを述べなさい。

あるいは

- (b) いわゆる「話」を展開させているものは、出来事であったり、主人公の意識であったり、又は他者の介入、偶然等であったりと様々である。学習した作品では、何が展開の根幹になっているかを示し、そこに潜む作者の思想について考察しなさい。

### 2. 随筆・評論

- (a) 「価値観は時代を反映する」という見方は、確かに可能だ。学習した作品の中で示される種々の価値観は、時代を映したものか、又は時代を超えてより普遍的なものか、作品間で比較検討し、思うところを述べなさい。

あるいは

- (b) 「客観的批評」というものは、果たして可能だろうか。批評といえども、批評する者の「主観」に依らざるを得ないのではないか。学習した作品を具体例に、その可能性を論じなさい。

### 3. 詩歌

- (a) 日常の見慣れた風景や出来事を、詩人はしばしば意表を突くような、更には読む者を震撼とさせるような表現で描き出す。学習した詩の中にそうした表現があれば、その幾つかを列挙し、そうした表現を採った作者の必然性について、思うところを述べなさい。

- (b) 自由詩には、自由な書き方が許されているからこそ、形式に依存できない難しさもある。言うなれば、各々の詩人が、自ら独自の工夫を編み出さなければならないわけである。学習した詩の中の、語、形式、文字等に、どのような工夫が見られるかを具体的に挙げ、夫々の効果について、感じることを述べなさい。

#### 4. 戯曲

- (a) 所作は、落語に於いては見どころとされる。まして演劇においては当然求められる要素だが、戯曲を書物として読む場合は、読者の想像に一任される。学んだ戯曲を例にとって、だからこそ面白い部分と、やはり限界を感じた部分とを具体的に挙げて、戯曲を「読む」ことの意味を論じなさい。

あるいは

- (b) ト書き（台詞以外の部分）は、戯曲を書物として読む際には、得てして飛ばし読みされる部分かもしれない。しかしト書きにこそ、作者の意図が直接的に示されている場合は少なくない。学んだ戯曲の中で、ト書きと作者の意図が密接に関連している箇所を挙げ、そこにみられる作者の意図を考察しなさい。

#### 5. 一般設問

- (a) 自然の現象やその描写は、作品の主題とどのような関わりをもっているか、学習した作品から具体例をあげ、主題との関連を明らかにしなさい。

あるいは

- (b) 時間の経過に沿って作品を展開させるのは、文字どおり順当な語り方だが、それを凌ぐくらいの頻度で、回想という形が用いられる。その必然性について、学習した作品を具体例にして考察しなさい。

あるいは

- (c) 作者は各々の登場人物像を書き分けるのに、どのような方法を用いているか。学習した作品から具体例を挙げて、詳述しなさい。

あるいは

- (d) 作者の視点は、語り手と重なる場合もあるが、重ならない場合もある。学習した作品の場合を各々述べ、作者の選択の意図を考察しなさい。